

2020 年度事業 進捗報告書（実行団体）

- 提出日 : 2022年 10月 7日
- 事業名 : サロンスタジオ整備事業
- 資金分配団体 : 中国5県休眠預金等活用コンソーシアム
- 実行団体 : 特定非営利活動法人西部ろうあ仲間サロン会

① 実績値

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
ろう者・聴者協働型動画作成ワークショップの実施	①動画制作ワークショップに参加したろう者の人数 ②動画制作ワークショップの実施回数	①40人 ②30回	2024年 1月末	①10人 ②6回	3
動画コンテンツの作成	①動画作成本数	①30本	2024年 1月末	①0本	3
外部連携団体の拡充	①実行団体外でのコンテンツ利用・講習相談受付件数 ②ろう者雇用先アンケート等協力団体の獲得団体数 ③連携団体等拡張に協力的な外部協力者等の獲得人数	①100件 ②10団体 ③20人	2024年 1月末	①0件 ②0件 ③5人	3
フィードバック収集	①本事業の設計・内容に関するフィードバック ろう者・聴者アンケートの回収件数 ②動画作成ワークショップ参加者のワークショップ毎 フィードバックアンケートの回収件数 ③ろう者雇用先アンケートの回収件数 ④各種フィードバックの成果に関する最終アンケート の回収件数	①ろう者 46件／聴 者100件 ②32件 ③10件 ④160件	2024年 1月末	いずれも実施できていない	3

*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値
5.新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

③ 広報（※任意）

- 1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）
- 2.広報制作物等
- 3.報告書等

2020 年度事業 中間評価報告書（実行団体）

評価実施体制

内部／ 外部	評価担当分野	氏名	団体・役職
外部	事業内容全般	和泉浩司	米子市公民館
外部	事業内容全般	徳岡久美子	社会福祉法人こうほうえん
内部	事業内容全般	笹間真智子	特定非営利活動法人西部ろうあ仲間サロン会
内部	事業内容全般	和田雅子	特定非営利活動法人西部ろうあ仲間サロン会

A) 事業のアウトカムの進捗状況の評価

① 短期アウトカムの進捗状況

アウトカムで捉える変化 の主体	指標	目標値	達成時期	これまでの活動をとおして把握して いる変化・改善状況
ろう者・聴者混成で実施するコンテンツ作成ワークショップが、ろう者の経験的格差を解消するための取組として有効に機能している。	①「支援されるもの」としての意識障壁を乗り越え、社会参加に積極性を見せるようになったろう者参加者の数（当事者へのヒアリング）	①関係団体拡張等に積極的なろう者(サークル等)協力者の数 20人	2024年1月末	2022年10月現在 0人 関係団体や協力者との連携は不十分であるが、動画作成委員会を通して、ろう者が主体的に関わり、社会参加への意欲を見せ始めている。 確実に行動変容が見られると確証をもって言うには、事業完了時を待たざるを得ないため、現状は0人とする。

ろう者の言語的格差、経験的格差を解消するためのツールとして、本事業で作成されたコンテンツが有効に機能している。	①作成されたコンテンツの視聴者に対する啓蒙・課題認知効果【経験的格差に着目】 ②作成されたコンテンツの潜在的情報ニーズ合致率【言語的格差解消に着目】	①アンケート・ヒアリング調査による定性評価（言動や行動等に変化がみられた絶対数20件） ②利用者50人以上のコンテンツ作成率（5本/30本）	2024年1月末	① 2022年10月現在 0件 ② 2022年10月現在 0件 具体的なコンテンツの作成が遅れているため、双方ともに0件となる。
本活動によって提供されたコンテンツや経験が、地域の様々なプレイヤーによる取組をサポートするための資源として有効活用されている。	①実行団体外でのコンテンツ利用件数 ②コンテンツ提供・フィードバック収集等で連携関係にある団体等の数	①50件 ②10団体	2024年1月末	③ 2022年10月現在 0件 ④ 2022年10月現在 0件 具体的なコンテンツの作成が遅れているため、双方ともに0件となる。



② アウトカムの分析「⑧アウトカムの達成度」(※任意)

評価小項目	評価小項目の評価結果	評価結果の考察



事業のアウトカムの進捗評価	評価結果の考察
<p>事業のアウトカムの進捗の程度は、事業終了時には</p> <p><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値を上回っての達成の見込みがある</p> <p><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成の見込みがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値はおおむね達成できる見込みがある</p> <p><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成は不透明である</p> <p><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成は難しい</p> <p>と自己評価する</p>	<p>新型コロナウイルス感染状況の影響もあり、各種の活動に制限が生じているため、予想以上に進捗していないが、実行団体が本事業以外で行っている事業に本事業を取り込むことで、当初計画していた連携を予定していた関係機関の他にも学校や教育機関等にも拡大していけると判断しているため、短期アウトカムの目標値はおおむね達成できると判断する。</p>

B) 事業の改善状況の評価

① 事業の実施過程・事業改善に関する評価

評価項目	評価小項目	評価結果	考察
実施状況の適切性	事業は計画どおりに実施されているか。	大幅に遅れている	新型コロナウイルス感染状況の影響もあり、各種の活動に制限が生じているため、予想以上に進捗していない。 また、動画作成委員会についても同様で、ろう者以外の関係者及び関係機関との連携が図れず、機能していない。
実施をとおした活動の改善、知見の共有	短期アウトカムの指標・目標値を改善する必要性はないか。	大幅に遅れている	当初計画していた連携を予定していた関係機関の他にも学校や教育機関等にも拡大していく必要がある。この取り組みについては、実行団体の事業に関連させながら進めていく必要がある。
組織基盤強化・環境整備	今後、事業実施において新たに関係構築が必要になるのは、どのような人や組織か、また、どのように連携を構築していくか。	大幅に遅れている	

② 短期アウトカムの状態の変化・改善に貢献した要因や事例

活動が進捗していないため、なし。

③ 事前評価時には想定していなかった成果

活動が進捗していないため、なし。



④ 事業計画の改善の必要性の確認

- 社会課題のニーズに事業計画の内容は合致している
- 受益者や事業対象グループのニーズに事業計画の内容は合致している
- 事業計画に記載している活動は、アウトプット⇒アウトカムへのつながりが実際に確認できている
- 残りの期間の資金配分・人員体制・スケジュールは活動を円滑に行えるよう計画されている
- 短期アウトカム指標は、事後評価時に測定し、達成度を評価することが可能な内容になっている



事業の改善状況の評価結果	評価結果の考察
<p>残りの事業期間で、事業が短期アウトカムを達成するために</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画は適切に改善されたといえる</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事業計画を適切に改善する見込みがある</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画の改善について、課題が残っている</p> <p>と自己評価する</p>	<p>新型コロナウイルス感染状況の影響もあり、各種の活動に制限が生じているため、予想以上に進捗していないが、実行団体が本事業以外で行っている事業の中には、小・中・高等学校での交流事業、高等教育機関への講師派遣、図書館との共同企画の実施などがある。これらの事業を本事業に取り込むことで、当初計画していた関係機関以外にも学校や教育機関等にも拡大していけると判断しているため、短期アウトカムの目標値はおおむね達成できると考える。</p>

⑤ 中間評価結果を踏まえて今後注力したいまたは早急に取り組みたい事項をお聞かせください。

- ・事業実施に当たっては、すでに実行団体がサロンスタジオ整備事業以外で活動を共に行っている団体とも連携していく。
- ・実行団体が実施している事業内においても、ニーズを把握するため、ろう者及び地域住民に対してもアンケート調査を行う。項目については早急に検討し行う。

添付資料



